

**九州工業大学における教育職員の評価について**  
**18年度(2006年度)実施分**

- 平成19年3月 -  
九州工業大学



## 目 次

はじめに . . . . . P 1

教育職員評価の実施方法の概要 . . . . . P 2

評価結果について . . . . . P 6

- 1 . 教育職員評価の申請状況について
- 2 . 評価結果について ( 4 段階の総合評価 )
- 3 . 評価結果について ( 円グラフ )
- 4 . 職種別重み
- 5 . 職種別評価点 ( 5 0 点満点 )

( 参考資料 ) 教育職員評価システム関係資料

教育職員評価システム操作マニュアル

教育職員評価に関する Q & A

教育職員評価に関する規則関係について

## はじめに

近年、社会的責任の遂行の一つとして、評価の重要性が認識されてきています。本学ではこのような社会的背景を踏まえ、また、教育職員の教育研究活動の一層の活性化を図り、その質的向上に努めることを目的として、教育職員評価を実施することにしました。この評価は3年ごとに実施することとし、本年（平成18年）に最初の全学的な評価を実施しました。このたび、その評価結果をとりまとめましたので、評価方法と併せて公表いたします。

本学では、評価領域として「教育、研究、社会貢献、管理運営」の4つを設定し、研究については過去5年度分（平成13年度～17年度）、他の3つの領域については過去3年度分（平成15年度～17年度）の活動状況を評価対象としました。

まず、評価基準に基づき、領域ごとに5段階評価を行いました。その結果に自己評価による「重み」を加味し、最終的に全体の活動を、「最良」、「良好」、「やや問題があり改善の余地がある」、「問題があり改善の余地がある」の4段階で評価することとしました。その結果、改善を要すると判断した教育職員に対しては、改善点を指摘し、改善計画書の提出を求めることにしました。

なお、評価に際しましては、新たに「教育職員評価システム」を構築し、システム上の「教育職員評価シート」への入力と、既存の「教員情報データベース」の情報の活用により、評価作業の効率化を図りました。

今回は初めての教育職員評価の実施ということもあり、教育職員の意識改革が最大の課題となりました。具体的な実施方法や内容については、評価実施体制の整備や、教員情報データベースに入力されたデータの精度への対処など、問題点や今後の課題も多々残されていますので、次回（平成21年度）の実施に向けて、評価方法等の改善・充実を図る必要があります。また、評価結果については、各部局の特性を考慮して内容の分析を行い、さらなる教育研究活動等の向上に向けて、効果的な活用がなされるよう期待します。

大学評価委員会委員長  
仁 川 純 一

## 教育職員評価の実施方法の概要

### 1. これまでの経緯について

16年度（平成17年2月2日 教育研究評議会）

- ・「組織・評価部会」で検討された教育職員の評価について報告
- ・これを受け、大学評価委員会で、平成16年度末から教育職員の評価方法について審議を行ってきた。

17年度（平成17年9月～11月 試行評価実施）

全キャンパスの1割の教員を対象に試行評価を実施。12月以降、更に大学評価委員会で実施規則、評価基準等について審議を行い、平成18年3月22日開催の教育研究評議会、役員会で最終的に審議、決定し、18年度から本格実施を行うこととした。

### 2. 教育職員評価の目的

教育職員の教育研究活動等の一層の活性化を図り、質的向上に努めることを目的。全教員をランク付けをすることが目的ではない。

### 3. 評価実施年度

平成18年度（以降3年ごとに実施）

### 4. 評価対象及び期間について（教育・研究・社会貢献・管理運営）

教育、社会貢献、管理運営：過去3年度分（平成15年度～平成17年度）  
研究：過去5年度分（平成13年度～平成17年度）

### 5. 評価実施方法

16年9月から学内で稼働している「教員情報データベース」のデータを活用。また、評価申請者、評価実施担当者双方の評価関係作業の効率化を図るため、ロータスノート上に「教育職員評価システム」を開発。このシステムを活用してwebで教育職員評価を実施。

### 6. 評価手順

各教育職員は、教員情報データベース及び教育職員評価シート（重み付けを含む）を入力し、評価申請を行う。

評価実施担当者は、4つの評価の領域（教育、研究、社会貢献、管理運営）別に、5段階の領域別評価を実施。

部局の長又は各センター長は、自己申告による「重み」を各領域の評価に乘じ、その和を算出して、

「最良」

「良好」

「やや問題があり改善の余地がある」

「問題があり改善を要する」

の4段階評価を決定。併せて申請内容に対するコメントを記載。

評価結果を各教育職員に内示。評価結果に対し、異議がある場合は、意見の申し立てが可能。

評価実施担当者は、意見の申し立て等について検討し、最終的な評価結果を決定し、各教育職員に通知。

**7. 評価結果の活用**（平成 18 年 1 月 4 日 教育研究評議会）

改善を要すると判断した教育職員に対しては、改善点を指摘し、改善計画書を提出させる。

研究資金の配分へは当面活用しない。

賞与への反映は、部局長が参考資料とすることはあり得る。（平成 19 年度から）

給与への反映は、引き続き検討する。

教育職員評価シートの画面の例： 教育の画面について

評価シート

入力例: ★★★学部 ●●●●学科 戸畑 花子 助教授

評価について申請を行う場合は内容を入力・確認の上、以下のボタンをクリックしてください。  
 ※一旦申請すると、評価結果の通知まで変更できません。

○ウエイト設定

| 評価領域 | ウエイト(%) |
|------|---------|
| 教育   | 25 %    |
| 研究   | 25 %    |
| 社会貢献 | 25 %    |
| 管理運営 | 25 %    |
| 合計   | 100%    |

[ウエイト設定について](#)

○チャート

A.教育 10  
 B.研究 7.5  
 C.社会貢献 5  
 D.管理運営 2.5

以下の項目に申請理由等あれば記入して下さい。

※ウエイト変更後は必ず「再計算」ボタンをクリックしてください。

---

[教育](#) | [研究](#) | [社会貢献](#) | [管理運営](#) | [その他自由記述](#)

[※教育の評価基準及び算定方法について](#)

教育の評価:  学部・大学院 両方  学部主体  大学院主体 で評価する。

2003年度～2005年度(過去3年分)

| 評価の領域 | 評価項目         | 件数/評価 | 評価指標 |
|-------|--------------|-------|------|
| 学部教育  | 授業担当(学部)     | 10件/B | 2    |
|       | 卒業研究指導       | 11件/B |      |
|       | 留学生指導(学部)    | 0件/C  |      |
| 大学院教育 | 授業担当(大学院)    | 0件/C  | 1    |
|       | 博士前期課程指導     | 14件/A |      |
|       | 博士後期課程指導     | 4件/A  |      |
|       | 博士論文審査(主査のみ) | 1件/B  |      |

| 教育の質  | 評価項目           | 評価  |
|-------|----------------|---|
| 教育の質  | FD活動への参加       | <input type="button" value="教員情報DBから引用"/> <div style="border: 1px solid gray; height: 40px;"></div> 評価: <input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C<br><a href="#">入力サンプルの表示</a> |
|       | 教育達成目標とその妥当性   | 評価: <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C<br><a href="#">入力サンプルの表示</a>  |
|       | 教育達成目標の達成状況    | 評価: <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C<br><a href="#">入力サンプルの表示</a>  |
|       | 教育内容面での取組と改善方策 | 評価: <input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C<br><a href="#">入力サンプルの表示</a>  |
|       | 教科書作成          | 2件/A  |
| その他観点 |                |   |

評価シートにおける評価結果の画面例

評価シート

入力例:★★★学部 ●●●●学科 戸畑 花子 助教授

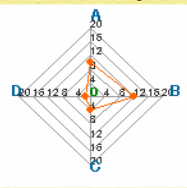
評価結果

| 総合評価:27.5(やや改善の余地)  |      |      |         |            |
|---|------|------|---------|------------|
| <b>指示・伝達事項:</b><br>○○○Eの○○として活躍されており、引き続き、その研究成果に期待しています。<br><br>○教育の部分で、大学院の授業担当をされてはいいかがでしょうか。<br><br>○授業アンケートの結果にも記載がありました。学生の理解度をよく把握して、小テストを実施するなど、工夫をされてはどうでしょうか。 |      |      |         |            |
| 領域  | 加点点数 | 加点点数 | ウエイト後点数 | 総合評価への加点点数 |
| A教育   | 40   | 40   | 10      | 0          |
| B研究   | 30   | 30   | 12      |            |
| C社会貢献   | 20   | 20   | 4       |            |
| D管理運営   | 10   | 10   | 1.5     |            |

○ウエイト設定

| 評価領域 | ウエイト(%) |
|------|---------|
| 教育   | 25%     |
| 研究   | 40%     |
| 社会貢献 | 20%     |
| 管理運営 | 15%     |
| 合計   | 100%    |

○チャート



- A.教育 10
- B.研究 12
- C.社会貢献 4
- D.管理運営 1.5

以下の項目に申請理由等あれば記入して下さい。

意見の申し立て [申請者からの申請理由等](#) 内容

教育 | [研究](#) | [社会貢献](#) | [管理運営](#) | [その他自由記述](#)

教育の評価:学部・大学院 両方で評価する。  
2003年度～2005年度(過去3年分)

| 評価の領域 | 評価項目           | 件数/評価   | 評価指標 |
|-------|----------------|---|------|
| 学部教育  | 授業担当(学部)       | 10件/B   | 2    |
|       | 卒業研究指導         | 11件/B   |      |
|       | 留学生指導(学部)      | 0件/C  |      |
| 大学院教育 | 授業担当(大学院)      | 0件/C  | 1    |
|       | 博士前期課程指導       | 9件/B  |      |
|       | 博士後期課程指導       | 3件/A  |      |
|       | 博士論文審査(主査のみ)   | 0件/C  |      |
| 教育の質  | FD活動への参加       | 企画立案0件/参加1件/B   | 1    |
|       | 教育達成目標とその妥当性   | 教育達成目標が社会ニーズに必ずしも沿っていないと考えられるので、現場視察の回数を増加させる改善策を考えており、次年度には改善策を実施する計画である。<br>評価:A                            |      |
|       | 教育達成目標の達成状況    | 学生の理解は十分と考えており、授業アンケートの○○という結果もこのことを裏付けている。<br><br>評価をAをBにする。<br>(理由)授業アンケートの結果は、学生からの不満の記載も多く見受けられる。<br>評価:B |      |
|       | 教育内容面での取組と改善方策 | パワーポイントなどの視聴覚教材を活用しており、学生の○○という反応を見てもこれが有効に機能していることが伺える。パワーポイントファイルを作成する上で、○○という工夫をしている。<br>評価:A              |      |
|       | 教科書作成          | 2件/A  |      |
| その他観点 | 評価:C           |   |      |



## 評価結果について

### 1. 教育職員評価の申請状況について

| 部局    | 学科・専攻        | 教授 | 助教授・講師 | 助手 | 計   | 未申請 | その他 | 3年未満などの対象外 |
|-------|--------------|----|--------|----|-----|-----|-----|------------|
| 工学部   | 機械知能工学科      | 12 | 11     | 7  | 30  |     |     |            |
|       | 建設社会工学科      | 6  | 7      | 1  | 14  |     |     |            |
|       | 電気工学科        | 14 | 9      | 8  | 31  |     |     |            |
|       | 物質工学科        | 9  | 10     | 7  | 26  |     |     |            |
|       | 共通講座         | 13 | 9      | 0  | 22  |     |     |            |
| 工学研究科 | 電気工学専攻       | 1  | 1      | 1  | 3   |     |     |            |
|       | 機能システム創成工学専攻 | 5  | 5      | 4  | 14  |     |     |            |
| 小 計   |              | 60 | 52     | 28 | 140 | 3   | 0   | 28         |

|         |             |    |    |    |     |   |   |    |
|---------|-------------|----|----|----|-----|---|---|----|
| 情報工学部   | 知能情報工学科     | 8  | 8  | 4  | 20  |   | 1 |    |
|         | 電子情報工学科     | 9  | 6  | 2  | 17  |   |   |    |
|         | システム創成情報工学科 | 8  | 8  | 7  | 23  |   |   |    |
|         | 機械情報工学科     | 4  | 8  | 5  | 17  |   |   |    |
|         | 生命情報工学科     | 10 | 4  | 5  | 19  |   |   |    |
|         | 共通講座        | 4  | 7  | 0  | 11  |   |   |    |
| 情報工学研究科 | 情報創成工学専攻    | 3  | 3  | 3  | 9   |   |   |    |
| 小 計     |             | 46 | 44 | 26 | 116 | 1 | 1 | 14 |

|          |        |    |    |   |    |   |   |    |
|----------|--------|----|----|---|----|---|---|----|
| 生命体工学研究科 | 生体機能専攻 | 11 | 9  | 1 | 21 |   |   |    |
|          | 脳情報専攻  | 10 | 7  | 1 | 18 |   |   |    |
| 小 計      |        | 21 | 16 | 2 | 39 | 0 | 0 | 10 |

#### (学内共同教育研究施設)

|                  |   |   |   |   |    |   |   |   |
|------------------|---|---|---|---|----|---|---|---|
| 保健センター           | 1 | 1 | 0 | 2 |    |   |   |   |
| 情報科学センター         | 0 | 2 | 3 | 5 |    |   |   |   |
| マイク化総合技術センター     | 2 | 1 | 1 | 4 |    |   |   |   |
| 機器分析センター         | 0 | 1 | 0 | 1 |    |   |   |   |
| ヒューマンライフIT開発センター | 3 | 2 | 0 | 5 |    |   |   |   |
| 安全衛生推進室          | 0 | 1 | 0 | 1 |    |   |   |   |
| 小 計              |   | 6 | 8 | 4 | 18 | 0 | 0 | 3 |

|     |  |     |     |    |     |   |   |    |
|-----|--|-----|-----|----|-----|---|---|----|
| 合 計 |  | 133 | 120 | 60 | 313 | 4 | 1 | 55 |
|-----|--|-----|-----|----|-----|---|---|----|

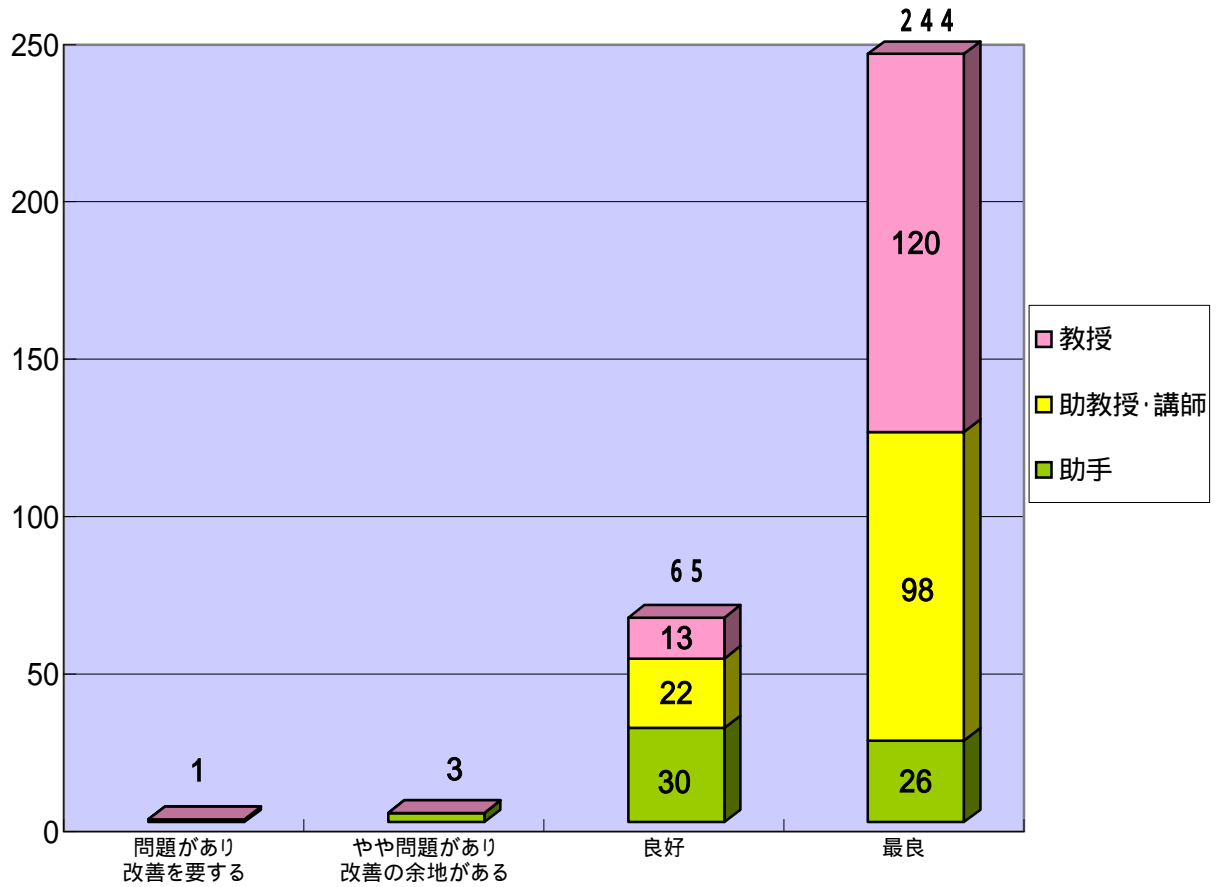
#### 1. 学内共同教育研究施設等の

産学連携推進センター、宇宙環境技術研究センター、ネットワークデザイン研究センター、先端金型センター、大学評価室は、任期制及び教育職員の在籍が3年未満であったため、評価対象外であった。

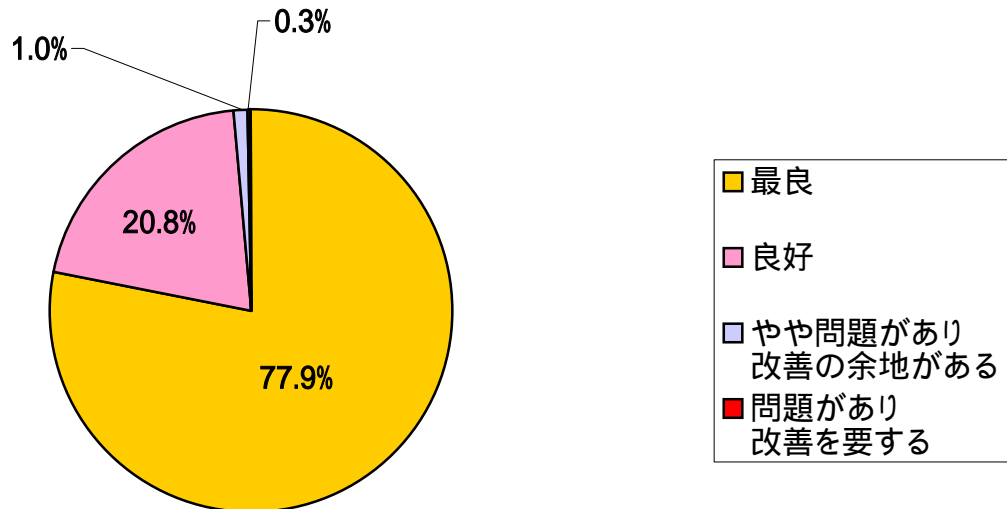
#### 2. 情報工学部の「その他」は教務職員

## 2. 評価結果について (4段階の総合評価)

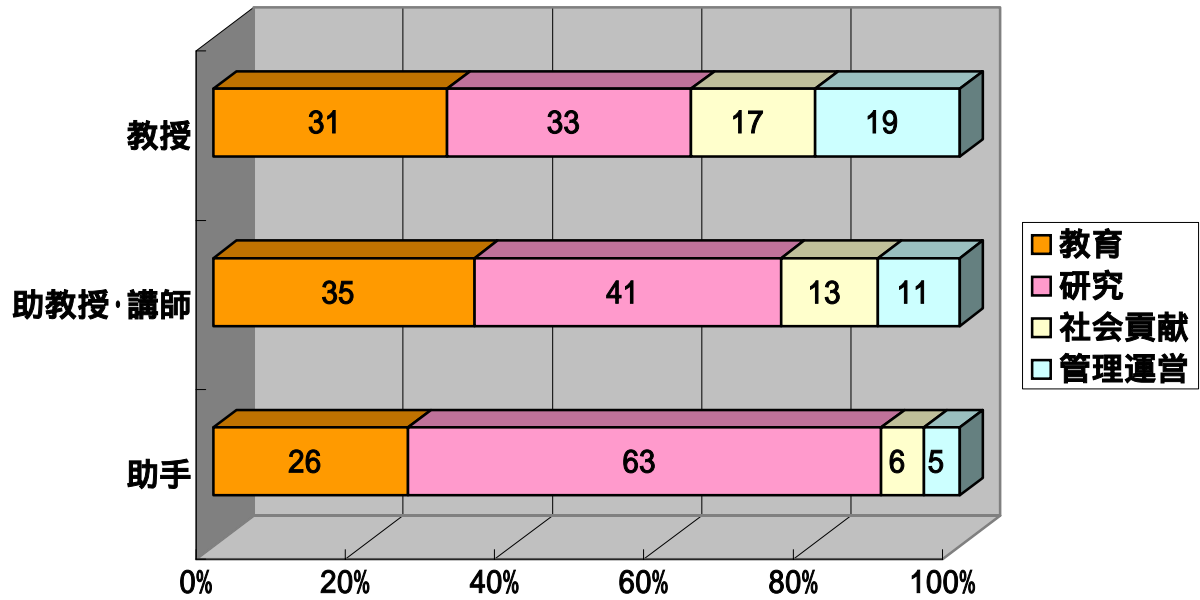
(人数)



## 3. 評価結果について(合計313名)



#### 4. 職種別重み



#### 5. 職種別評価点(50点満点)

